



NPO こども食堂理事長 和田氏より



私が子ども食堂を始めてから7年が経ちました。最初はコミュニティーセンターをお借りし、ひと月に1回の子ども食堂を2ヶ所で開催しておりました。そこで知り合った子ども達の中に問題を抱えている子が数名いました。それは、学校に行ってなかったり、親に暴力を受けていたり、自殺の方法を検索していたり、とてもとても深刻なものでした。その時、この子ども達を放っておくことはできない、寄り添わなければと強く思いました。

しかし、月に一回の開催で、ましてお借りしている場所では、子ども達に寄り添うことはできないと思い、池上4丁目に『こども食堂 よこすかなかなかや』を立ち上げました。最初に集まった子どもは11人。たまたまなのか、全員ひとり親家庭で経済的にも厳しい家庭の子ども達でした。そして生活面でも問題があり、人に迷惑をかけたり、ケンカをしたり、学校に行かなかったり、万引きしたりということもありました。当時は、親に代わり学校へ行ったりもしていました。今では様々な問題を解決するため、学校をはじめ教育委員会、児童相談所、警察、保健所など専門の機関と連携し取り組んでいます。

コロナ禍は、全国に約6千件ある子ども食堂の開催を困難なものにしました。学校が一斉休校になった際、「なかなかや」では給食を食べられなくなった子ども達のために、いち早くお弁当の無料配布をおこないました。緊急事態宣言が発令された際は、ごはんが食べられなくなると強い訴えがあり、大人も子どもも感染予防のルールを徹底し休まず続けてまいりました。

現在、「なかなかや」に来てご飯を食べる子ども達は約15人。食材を配布しているご家庭は横須賀市全域に26件、まだまだサポートしたい子ども達はたくさんいます。また、各機関に携わっていないたくさん子ども達にも寄り添いたいと思っています。

「なかなかや」はたくさんの方々から温かいご支援やご協力をいただきながら活動していますが、ボランティアさんや運営資金が足りず厳しい状況が続いています。そこで少しでも運営資金を賄おうと平作8-1-2でお弁当屋を始めました。

まだまだ赤字です。どうか皆様に活動をご理解いただき、ご協力とご支援をいただきたくお願い申し上げます。活動の内容はホームページやフェイスブックでご覧いただけます。「**子どもの今の心と命を守る**」を理念に、毎日全力で取り組んでおります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 よこすかなかなかや 理事長 和田 信一

ながやキッチンの住所：平作 8-1-2 (平作住宅入口手前)



平日の午前中から
お弁当を販売
しています！



新しい職員の紹介

田村 かの
(介護支援専門員)



趣味は建物の探訪で、趣ある一軒家や歴史的な建造物を見るのが好きです。寝る前にストレッチするのが日課。地域の皆さんの力になれるように頑張ります！

衣笠第一地域包括支援センター

緊急時 24 時間対応

所在地 横須賀市衣笠栄町 4-14 共楽荘内

電話 046(851)1963

担当地域：平作・池上・金谷・阿部倉・衣笠栄町・小矢部2丁目、4丁目